

生活支援のモデルと実践 -山谷での実践の整理-

2018年 3月 10日 (土) 15:00~18:00 ※14:30開場 定員 100名 ※先着順

会場 福祉プラザ台東清峰会 1階ホール (東京都台東区清川2-14-7)
対象 本会会員、医療関係者、介護・福祉事業者、NPO、行政関係者、地域住民の方々
(民生委員など)、そのほか本会の活動に関心のある方
参加費 1,000円 ※資料代

生活保護や年金で暮らす独居の高齢者が多い山谷地域。とくに独居生活が困難な人々の暮らしは、NPOなどが独自に提供する居住支援(無料低額宿泊所や支援付き共同住宅など)と生活支援、そして社会サービス(医療・介護保険サービスや保健・福祉サービス)の連携によって支えられてきました。

NPOなどによる生活支援は、社会サービスの専門性の隙間を日常生活行為の支援(見守り、緊急時対応、介護サービスの入らない時間帯での介助対応、服薬・金銭管理など)によって埋めつつ、対象者との関わり合いを通して、他者や地域との関係性が育まれるのを助けるような取り組みなどが行われています。

加えて、社会サービスにおいても、とくに在宅介護サービスの事業所では、制度内の給付内容では担いきれない部分のニーズを補うような取り組みを、それぞれの事業所の特色を生かしながらボランティアに行っている現状があります。

一方で、改正を目前に控えている介護保険法、社会福祉法、生活保護法、そして生活保護基準の見直しなど制度変更の動向は、こうした取り組みの財源や制度的根拠を縮小・撤退させるものであり、山谷地域で積み重ねてきたケアの体制を大きく揺るがしてしまうことが危惧されています。

今期本会ではこうした状況を踏まえ、山谷地域の地域ケアを特徴付ける生活支援をはじめとするインフォーマルなサービスの重要性を確認し、それらの実態や効果、その評価について意見交換を行ってきました。

今回のシンポジウムでは、流動的な社会制度の動向の中においても、山谷地域で“わたしたち”が試行錯誤しながら行ってきた「生活支援」と呼ばれるインフォーマルサービスの再現性や持続可能性を担保することをねらいに、そもそも「生活支援」とは何かということをご参加いただいた皆さまと議論を深めていくことを試みてきたいと考えております。ぜひご参加ください。

第1部

報告 『生活支援の実践』

報告者 自立支援センターふるさとの会、友愛会、訪問看護ステーションコスモス、山友会

第2部

講師コメント 『生活支援とは何かということをつかむために』

講師 猪飼周平氏(一橋大学大学院 社会学研究科 教授)

第3部

パネルディスカッション 『生活支援のモデルと実践 -山谷での実践の整理-』

パネリスト

猪飼周平氏(一橋大学大学院 社会学研究科 教授)、自立支援センターふるさとの会、友愛会
訪問看護ステーションコスモス、山友会

コーディネーター

瀧脇 憲氏(自立支援センターふるさとの会)

第4部

グループディスカッション 『生活支援を考えよう』

コーディネーター 尾方欣也(三井記念病院)



1971年生まれ。一橋大学大学院社会学研究科教授。社会政策、医療政策、医療史専攻。
日本の医療100年の歴史を紐解くなかで、医療の焦点が世紀転換期以降、患者を治すことから、患者の生活や人生を支えることに移行する現象について解明し、2011年にその研究の成果を『病院の世紀の理論』（有斐閣）に著す。近年では、この観点を拡張し、医療にかぎらず広く生活保障領域において、人びとの生活を政策によって支えること（生活保障）の意義を探求。戦後70年余にわたる社会保障や福祉国家の道程を総括し、新たな生活保障の展望を拓くことを視野において研究を行う。

※近年の論文

- ・「地域包括ケア政策の総括から共生社会へ」『月刊保険診療』第72巻第6号（p.34-39,）2017年6月
- ・「逆算的リアリズムからの生活保障」『生活経済政策』通巻234号,（p.5-10）2016年7月
- ・「ケアの社会政策の理論的前提」『社会保障研究』第1巻第1号（p.38-56）2016年
- ・「「制度の狭間」から社会福祉学の焦点へ」岡村理論の再検討を突破口として『社会福祉研究』通巻122号,（p.29-38）2015年4月

会場までのアクセス

最寄り駅 南千住 駅（JR常磐線、東京メトロ日比谷線、つくばエクスプレス）

バス

- ・都バス46系統「清川二丁目」 徒歩2分
- ・都バス42甲系統「清川二丁目」 徒歩2分
- ・台東区循環バスめぐりん「清川一丁目」 徒歩2分

最寄り駅から徒歩

- ・JR常磐線「南千住」 徒歩12分
- ・TXつくばエクスプレス「南千住」 徒歩12分
- ・東京メトロ日比谷線「南千住」 徒歩12分
- ・東京メトロ日比谷線「三ノ輪」 徒歩20分

お問い合わせ

地域ケア連携をすすめる会 事務局

TEL 03-3874-1269

Mail community.service.jimukyoku@gmail.com

担当 油井 和徳（特定非営利活動法人 山友会）

参加申し込み

以下の参加申し込みフォームよりお申込みください。

http://bit.ly/chiiki_care2018（地域ケア連携をすすめる会 第7回シンポジウム 参加申し込みフォーム）

申し込み用紙

※ FAXでの参加お申込みの方は本用紙をFAX番号（03-3874-1332）までご送付ください。

会場までの地図



お名前・ご所属	
ご連絡先	【TEL】 【Mail】
備考	